

特集

硬膜外麻酔について知ろう

硬膜外麻酔の基礎知識

照井克生

硬膜外麻酔の産婦へのケア 助産師が行なう介助と心のケア 景山直子

硬膜外麻酔使用による無痛分娩

産後1年経過した母親が語るその体験を聞いて

佐々木和子

【アンケート調査】お産の痛みを考える

渡邊美貴

【パネルディスカッション】陣痛のすどし方

佐古かず子, ほか

わが国における硬膜外無痛分娩と日本麻酔科学会での取り組み 奥富俊之

特別 第3回出産と出生のヒューマニゼーション

寄稿 国際会議に参加して

三砂ちづる

連載

いのちのささやき 5 夜明けの世界

宮崎雅子

現場で即使える! 助産師のための英会話 5

Health Guidance for Pregnant Women (2) 【妊婦への保健相談 (2)】

平野美津子, ほか

助産院のごはん 17 目白バースハウス

畑中郁名子

あるある いろいろ, そのケース 妊婦健診とらのまき 12

26歳初産, デザイナー, 1人っ子同士の結婚【後編】 山本詩子, ほか

臨床から発信! 看護研究ことはじめ 2

文献検索に取り組もう

中川有加

編集後記

●今号をもって、弊誌を離れることになりました。新人で弊誌の担当となり、助産について右も左もわからない状態からのスタート。恥ずかしながら、助産師がどんな職種なのかを知ったのも、入社後のことでした。その後、助産や周産期を取り巻く状況が大きく変化していく時期とも重なり、瞬く間に過ぎた4年間でした。これからの助産への期待を抱きつつ、次は雑誌編集とは少し異なる立場から、現場の皆様を応援してまいります。この場を借りまして、たくさんのご指導、ご教授をいただきました皆様に、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。今後とも、どうぞ弊誌をご愛読いただけますようよろしくお願いいたします。(近江)

●取材にうかがった日本助産学会会場では、同窓会のようにハグしたり握手したり、再会を喜び合う助産師さんの姿を何組も見かけました。今は育児真っ只中で赤ちゃんを抱っこしている育休中の方、助産院勤務の方、施設勤務の方、助産師教育に携わっている方。場は違ってもそれぞれの想いは1つ、女性が健康にあるように、お産の場が豊かなものになるようにと、参加者の質疑応答の真摯な姿に、頼もしさを感じた2日間でした。(綿貫)

助産雑誌

第65巻 第4号 2011年4月25日発行 毎月1回発行

発行: 株式会社医学書院

代表者: 金原優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. I-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

© 2011, Printed in Japan

I部定価: 1,365円(本体1,300円+税5%)

2011年年度予約購読料(消費税・配送料弊社負担):

冊子のみ 15,600円 冊子+電子版 20,600円

電子版/個人 15,600円 電子版/共有 17,940円

販売部販売課 ☎ 03-3817-5657

編集室直通 ☎ 03-3817-5773 FAX 03-5804-0485

電子メール宛先: josan@igaku-shoin.co.jp (担当) 綿貫/近江/伊藤

医学書院ホームページ: <http://www.igaku-shoin.co.jp>

・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は医学書院が保有します。

【JCOPY】(社)出版者著作権管理機構 委託出版物

・本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

・本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された「I347-8168/11/¥250/論文/JCOPY」は、I論文1回複写につき250円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCOPYへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。